

## 2018年度(平成30年度) 特定課題研究費研究報告書

研究代表者	所属	一般	職	教授	氏名	古川 浩洋
研究分担者	所属	一般	職	教授	氏名	古川 浩洋
	所属	一般	職	准教授	氏名	池田 宏
	所属	一般	職	准教授	氏名	長森 清
研究課題名	(和文) 首都東京におけるアクティブ・ラーニングを用いた「課題研究」の実践 (英文) Practice of "Task-based studies" about Metropolitan Tokyo with active learning					
研究種目	教育課題研究					
研究実績の概要						
<p>「課題研究」は 3 名の担当教員の専門性に関連した課題を学生と討論して設定し、それに沿って学習・調査・研究を行ない、学生はコースの枠を超えて 3~4 名から成るグループに分かれ授業実践を行なった。山内らがまとめた昨年度の課題を踏まえ、学習計画に修正・改善を図り、更にアクティブ・ラーニングに関する情報の収集と検討を行った。研究成果の一部を関東信越地区高専体育・スポーツ研究会に発表した。なお、各系で実施したテーマは以下の通りである。</p> <p>【化学系】研究テーマ：首都東京に活かせる新しい機能性材料の探索とその活用法に関する研究 首都東京では環境負荷低減という観点から機能性の高い材料が求められている。そこでコース横断的なグループを組み、具体的なチームのテーマとしては、身近なものから精製したセルロースの特性試験と酒石酸カリウムナトリウムの圧電効果の性能調査についてまとめた。</p> <p>【体育系】研究テーマ：オリンピック・パラリンピックの現状と課題に関する研究 オリンピック・パラリンピック教育の一環として、それらの歴史や変遷を文献調査し、前回 2016 年リオ大会をはじめ過去の大会の比較から、VR を活用したパラリンピック種目の SNS での PR 方法や練習環境を改善するために施設を再利用する検討、陸上競技の長距離トラック種目の走法比較の測定実験を行い、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会への提言をまとめた。</p> <p>【英語系】研究テーマ：日本における英語教育及び英語学習、訪日外国人観光客に関する研究 英語教育・学習の研究として、日本人に英語を教えている外国人教師へのインタビュー、Tokyo Global Gateway への参加、TOEIC 受験、文献で調査を行った。訪日外国人観光客に関する研究として、都内の主要観光地において訪日外国人観光客にインタビューを行い、それらのデータを分析し、東京都産業労働局観光部にその成果を報告し、首都東京の観光についての意見交換も行った。</p>						
研究発表（論文、著書、講演等）						
古川浩洋・池田宏・長森清「本校一般科におけるアクティブ・ラーニング科目の授業実践，一第 4 学年集中科目「課題研究」の取り組み― 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第 7 回大会号，pp.11-12，2019						
その他（教育活動・OPC への貢献、特許等）						
「課題研究」授業の成果発表として、中間報告会（9月21日）、最終報告会（12月20日）を実施した。						